

第 195 回

クラシックファンのためのコンサート

2019年 2月21日(木) 大阪倶楽部 4階 ホール 午後7時開演

城石 賢明
オーボエリサイタル

ピアノ 黒瀬 紀久子



〈プログラム〉

ヘンデル (1685~1759)
ソナタ 第2番 変ロ長調 “Fitzwilliam”
Allegro
Grave
Allegro

J. S. バッハ (1685~1750)
無伴奏パルティータ ト短調 BWV1013
Allemande
Corrente
Sarabande
Bourree Anglaise

モーツァルト (1756~1791)
ソナタ ヘ長調 K. 13
Allegro
Andante
Menuetto

シューマン (1810~1856)
アダージョとアレグロ 変イ長調 Op. 70

第195回は城石賢明氏をお迎えしてオーボエリサイタルを行いました。大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪センチュリー交響楽団の首席を勤め、退団後は大阪バッハアンサンブルを結成し、ソロや室内楽で幅広く活動されています。

演奏曲は、城石氏オリジナルの装飾が施されたヘンデルのソナタ、元はフルートのために書かれたバッハの無伴奏パルティータ、天才モーツァルトが8歳の頃に書いたソナタ、そしてホルンとピアノの曲として知られたシューマンのアダージョとアレグロでした。

ユーモア溢れる楽しいお話と共に、柔らかく伸びやかな音色、哀愁を帯びた響き、力強い表情などオーボエの多彩な魅力を堪能しました。

〈ご来場者のアンケートより〉

- ・4人の有名な作曲家。演奏が素晴らしく大変癒しと感動を頂きました。有りがとうございます。
- ・オーボエの音色は近くで聴くとまた格別です。最後の曲はオーボエの甘い音色が最大限に生かされた美しい曲ですね。
- ・どの曲も素敵でした。本日の仕事も大変でしたが城石さんの優しく力強いオーボエの音色にとっても癒されました。明日から頑張れます。
- ・久しぶりに来場し嬉しい気持ちで一杯です。ピアノとオーボエの音に癒されました。会場が家庭的な暖かい雰囲気とても良いですね。気持ち良かったです。
- ・美しい音の中で時間もゆっくり流れるようにバロックの響きを楽しませて頂きました。



NPO法人 クラシックファンのためのコンサート

〒550-0025 大阪市西区九条南2丁目18番16号

TEL 080-4824-4001 FAX 06-7635-8590 WEB classicfan.jp MAIL contact@classicfan.jp